

平成31年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<p>①現行の教育課程の改善を図り、新教育課程編成を進める。</p> <p>②本校のミッションと生徒・保護者のニーズを基に、魅力と特色ある学校づくりの推進を図る。</p> <p>③組織的な授業研究を進め、主体的学習習慣を育成する。</p>	<p>①生徒の実態や学校の実情に対応した新学習指導要領の検討をさらに進める。</p> <p>②生徒の主体性や課題解決能力を育むための授業研究や資格検定の受験奨励を進める。</p> <p>③インクルーシブ教育の実践を見据え、ユニバーサルデザイン、学校設定科目、評価方法等の検討を進め、仕組みや体制を構築する。</p>	<p>①学校教育目標を踏まえ、新学習指導要領に対応した教育課程編成の検討を早々に始める。</p> <p>②技能審査成果の単位認定化を保護者・生徒に周知し、資格・検定試験を奨励する。</p> <p>③パイロット校の取組状況を踏まえ、学校設定科目、評価方法等の検討を行う。</p> <p>・関連する職員研修を年間5回以上実施するとともに、校内体制を整備する。</p>	<p>①新学習指導要領に対応した教育課程の編成が進められたか。</p> <p>②資格・検定試験の受験者が増加したか。</p> <p>③学校設定科目、評価方法等を定めることができたか。ユニバーサルデザインや個別指導計画等について理解を深めることができたか。</p>					
2	生徒指導・支援	<p>①生徒の自主的運営能力を向上させ、生徒主体の自立的活動を促し、自ら課題解決にチャレンジしていく積極的な態度の育成を図る。</p> <p>②基本的生活習慣を確立し、自己管理能力、自律的行動規範の獲得を促し、モラルの向上やルール遵守の精神を養う。</p> <p>③丁寧できめ細かな生徒支援体制を構築する。</p>	<p>①部活加入率の向上や部活動の活性化を図るとともに、生徒の主体的な活動、活躍の場を拡充することによって生徒の自立的活動力、チャレンジ精神を育成する。</p> <p>②組織的な生徒指導を行い、基本的生活習慣の確立と規範意識の醸成を図る。</p> <p>③生徒一人ひとりを大切にしながら組織的な支援体制を確立させるとともに、生徒がみんなで支え合うインクルーシブな意識を育てていく。</p>	<p>①新入生に対して一斉体験入部を設ける。各行事で生徒が主体的に活動できる場をサポートし、新たな試みを推奨する。</p> <p>②遅刻、服装・頭髪の指導を徹底する。</p> <p>・バスや自転車乗車マナーに係る指導を引き続き行う。</p> <p>③よりきめ細かい個別面談やSCとの面談、ケース会議等、生徒一人ひとりに対応した支援体制を充実させ、教育相談体制を定着させる。</p> <p>・インクルーシブな意識を育てるにあたり、生徒を対象とした講演会を年間2回以上実施するとともに、係るグループと連携を深める中で、他者理解、共生に向けた学習内容をカリキュラム化する。</p>	<p>①部活動加入率65%以上を目標にする。各行事での生徒アンケートで満足度が80%を越えるように工夫する。</p> <p>②遅刻、頭髪服装の指導を行い改善が図れたか。</p> <p>公共心が育ち、乗車マナーや自転車通学のマナーの向上が見られたか。</p> <p>面談、SCの活用、ケース会議など効果的な支援を実施できたか。</p> <p>③講演会を通して、生徒の意識に変化はあったか。</p> <p>組織的な支援体制が確立できたか。</p>					

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	①自己発見の機会を与え、自己の将来にも向き合いながら自己実現を目指すキャリア教育の充実を図る。 ②進路希望の実現に向けて進路選択能力の涵養と学力向上を図る指導を充実させる。	①生徒が自ら課題を発見し解決する過程を重視した総合的な探求の時間の研究を進めるとともに、全教師が一体となって組織的に指導する体制を構築する。 ②生徒の勤労観や職業観の育成をめざし、インターンシップ活動や分野別説明会を充実させる。	①課題の探究活動や各種のガイダンス、進路選択のための活動を通して振り返りを行い、ポートフォリオの記録を徹底する指導をする。 ・キャリア支援Gと各学年が連携し、探究活動のサポート体制の構築を図る。 ②3年間を見据えて、生徒の発達段階に応じた適切なキャリアプログラムを実施する。	①・年度末に活動の記録が各自残せているか。 ・キャリア支援Gとともに全教職員が探究活動に関わり、生徒の活動をサポートできたか。 ②生徒のニーズに合ったプログラムを実施できたか。 ・参加した生徒の満足度が高かったか。					
4	地域等との協働	①地域社会の理解を得るため、本校の教育活動に係る積極的な情報発信を行う。 ②地域貢献・連携・協働を通し社会参画意識の向上を図る。	①本校の教育活動を効果的に外部発信するために学校説明会やホームページの充実化をさらに図りながら広報活動を推進する。 ②地域との連携・協働の場を拡充し、生徒の社会と関わる力をさらに伸長する。	①学校説明会で体験授業を実施する。霧コンシェルジュ(学校説明会サポート)を育成し外部発信を充実させる。 ・新HP作成に係る研修を実施しHP作成を協働する。 ②部活動・ボランティア活動を中心に地域と関わる機会を提供する。 ・地域の特別支援学校や就労支援施設等と連携し、インクルーシブ教育に関する啓発や進路実現に向けた協力体制を整備する。	①来校者アンケートで肯定的評価が7割を超えたか。 ・更新は随時行われ、内容は的確なものだったか。 ②地域との活動に参加した部やボランティアの件数・団体数が増えたか。 ・地域との連携を深め生徒が活躍できる場を拡大することができたか。					
5	学校管理 学校運営	①事故・不祥事防止に努め、安全安心な信頼される学校づくりを進める。 ②防災教育・防災訓練を通じて、教職員や生徒の防災意識を高めながら、学校全体で組織的・計画的に災害対策対応力の強化を図る。 ③校内美化、環境整備を進める。	①職員一人ひとりの事故・不祥事防止に対する意識をさらに高めるとともに、信頼される学校づくりに向けガバナンスを高めるための仕組みを構築する。 ②地域と連携した防災教育・防災訓練等を通じ、教職員や生徒の「自助共助公助」の防災意識をさらに高める。 ③インクルーシブ教育の充実に向けて、校内の施設について充実させる。	①課題解決に向けた効果的な事故防止会議を運営する。 ②防災体制を詳細に構築し、実践的な訓練を行う。生徒対象のDIG研修を実施し、防災・安全意識を高める。 ③予算を有効活用し、校内の施設設備を適正に配置する。点検を充実させ、安全性や機能性を高める。日頃から校内美化を推進する。	①年間を通して、具体的に効果的な事故防止会議が実施できたか。 ②職員の防災意識を高める職員研修を実施できたか。 生徒対象のDIG研修を実施したか。 ③インクルーシブな教育に必要な施設や設備を整えることができたか。校内美化について、生徒が主体的に取り組む仕組みづくりができたか。					